

ほけんだより

1年生特別号～薬物乱用防止教室～

令和5年12月1日(金)

七尾市立中島中学校

保健室

薬物乱用防止教室を実施しました



11月28日(火)の6限目に、1年生を対象に、本校学校薬剤師の安田由美子先生をお招きして、薬物乱用防止教室を実施しました。

安田先生には、薬物の怖さ“依存性”や、“手を出さない・断ることの大切さ”についてお話しいただきました。話題のニュースや具体的な事例も交えながら話ししていただく中で、聞き覚えのある地域で薬物が栽培されていた事実を知った時には、驚きでしたね。他人ごとでは無く、身近な所にも危険がひそんでいる、ということを実感したのではないのでしょうか。

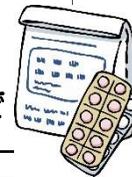
違法な薬物はもちろん、身近な市販薬にも、依存性があります。みなさんは、市販薬を正しく使えていますか？

オーバードーズ略してOD

少し前に流行った曲名に使われていたので、言葉を聞いたことのある人も多かもしれませんね。

ODは、市販薬を過量に摂取することの意味で、体に大きな負担がかかります。絶対してはいけません。

★薬は、決められた用法・用途で



聞きなれない専門用語も多く、少し難しかったかな、と心配しましたが、真剣に話を聞いていました★

薬物乱用防止教室の感想

*一部抜粋

- ・たくさんの隠語があるということが分かったり、大麻の検挙者で少年の検挙者数が増えていることが分かったり、危険がたくさんあるということを知りました。
- ・薬物を使用すると、脳や体に影響があり、自分をコントロール出来なくなると知って、ものすごく怖くなりました。
- ・乱用しないようにしたいなと思いました。
- ・薬物を乱用することは、自分以外にも、周りの人にも迷惑をかけてしまうことが分かった。
- ・今日は、1時間僕たちのために、話をしてくれて、ありがとうございました。
- ・薬物が身近な物の名前に変化していたり、誰が使っているか分からないのがすごく怖い。友達や先輩から誘われても、絶対に断って、自分の体を自分で守っていきたい。
- ・体への影響が大きく、とても危険で、最悪の場合、死にいたることが分かり、とても驚いた。
- ・絶対に使わないようにしようと思いました。
- ・医薬品でも、使い方を間違えると、薬物乱用になってしまうことが分かりました。
- ・薬物をすすめられても、キッパリと断り、その場から離れればいいと分かった。
- ・薬物を隠語などでチョコ・アイス・バツ・ペー・チャリ・アンパンなどで呼び方を変えていることが分かった。
- ・薬物には、大麻・覚せい剤・MDMA・コカイン・危険ドラッグ・有機溶剤があることが分かった。
- ・医療用に作られている薬でも、ODで使用したりなどの使用方法を守らない使い方があることが分かった。
- ・幻覚や妄想・フラッシュバックを起こすことが分かりました。
- ・薬物乱用をしないように心がけようと思いました。もし声をかけられたらすぐに断る。
- ・薬を使う時は、決められた量で使っていこうと思いました。
- ・命を落としてしまう可能性もあるし、逮捕されると、家族や友人との関係が崩れて、家庭崩壊になってしまうことが分かった。大人になった時、誘いを断って気をつけて生活しようと思いました。
- ・成長期にある若者の脳に悪影響であり、脳を破壊してしまうことが分かりました。強いはっきりとした態度で断ることが大切だと思いました。
- ・「一回だけ」「ちょっとだけ」と思って、大麻グミなど薬物を食べると、やめようと思ってもやめられなくなるということが分かりました。
- ・近年では、薬物乱用をしている人が増加していることが分かりました。1度も巻き込まれないように、誘われてもはっきりと断ります。

